



MESSAGE NOTES

主は言われた「さあ、天を見上げなさい」

創世記 15章5~6節

ロイド フラハティ

創世記 15章5~6節

5 そして主は、彼を外に連れ出して言われた。「さあ、天を見上げなさい。星を数えられるなら数えなさい。」さらに言われた。「あなたの子孫は、このようになる。」6 アブラムは主を感じた。それで、それが彼の義と認められた。

1. 信仰は、私たちが神様の約束を信じて歩み出すときに始まる

[創世記 15章6節 アブラムは主を感じた。それで、それが彼の義と認められた。](#)

- ・「義」とは、関係を表す言葉です。
- ・「義とされる」とは、私達が神との正しい関係の中に置かれているという意味です。

2. 信仰は、神にしかできないことを受け取る

- ・ 義は、自分の努力で手に入れるものではありません。神様から与えられて受け取るものです。
- ・ アブラムは自分の力で約束を勝ち取ったのではなく、ただ、その約束をシンプルに信じたのです。

[エペソ人への手紙 2章8節 この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出したことではなく、神の賜物です。](#)

- ・ 信仰は、神様に対する支払いではありません。それは、神様がくださる恵みのプレゼントを受け取ることなのです。

3. 信仰は、新しい生き方を生み出す

アブラムの信仰は、彼の生き方を変えました。彼は神に従い、神を待ち望み、神に従順に生きたのです。

[ローマ人への手紙 1章17節 「義人は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。](#)

- ・ 信仰は私たちを義とし、義は私たちの人生を形づくります。

まとめ：

神の約束を信じる – 信仰は神のことばを信じる心。

神からのプレゼントを受け取る – 信仰はイエスを通して義を受け取る。

神の道を生きる – 信仰は私たちの生き方を新しくする。